

地 情 発 第 1 3 号

平成29年(2017)年4月6日

滋賀県地域情報化推進会議

運営委員 各位

滋賀県地域情報化推進会議

事務局長 原 田 憲 一

平成28年度第3回運営委員会の議事録送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

3月23日に開催いたしました平成28年度第3回運営委員会の議事録を調製しましたので送付します。

【担当】

滋賀県地域情報化推進会議事務局  
(滋賀県県民生活部情報政策課) 藤原  
tel. : 077 (528) 3380  
fax. : 077 (528) 4839  
e-mail : chiiki@pref.shiga.lg.jp

## 滋賀県地域情報化推進会議 平成28年度第3回 運営委員会概要

日時 平成29年3月23日(木) 13:00～14:00

場所 滋賀県庁新館7階大会議室 システム設計室 I (A)

出席者 別紙のとおり

### 1 平成28年度事業実施報告について

#### ○運営委員長

資料1にもとづいて運営委員長から、平成28年度事業の概要を説明。

#### ○運営委員

〈特に意見なし〉

### 2 ICT利活用検討部会設置要領の一部改正について

#### ○運営委員長

資料2にもとづいて運営委員長から、ICT利活用検討部会設置要領の一部改正の趣旨および概要について説明。

#### ○運営委員

御願いたい事項がある。滋賀県地域情報化推進会議とそれぞれの部会、また、今回設置しようとするワーキンググループの全体像をイメージできる図のようなものがあれば良いのではないかと考えている。図には、それぞれの機関の役割を一言程度で良いので記していただき、その中に、それぞれの構成員がこれだけいる、といった資料があれば、対外的なアピールになるのではないかと。

今回、第2条で、サブテーマを設けると言うことが省かれたが、それはどこへ行ったのか、ということも含めて分かりやすい絵があれば良い。

#### ○運営委員長

IoTとオープンデータについては、具体的なものを生み出す動きに繋がりがつあるので、機能として分けるという案を作成した。

それ以外のテーマについては、部会の方に残ると考えている。

#### ○運営委員

そういうことであれば、それを表現したイメージ図があると、参加者等のコンセンサスが得られるということもあり、参加する側としてありがたい。

#### ○運営委員長

次回、用意する。

#### ○運営委員

滋賀IoT推進ラボと滋賀県地域情報化推進会議あるいは、ICT利活用検討部会の役割、切り分けはどうなるのか。

#### ○運営委員長

地方版IoT推進ラボは、地方公共団体の他、民間団体等の様々な主体が協働・連携し、新しいIoTのコンテンツを産み出そうという取組を経済産業省が認定をするもの。

認定された取組には、経済産業省からの人材紹介や、補助金申請にあたっての採択において、評価点が加算される等のメリットを受けることができる。

本県では、滋賀県と関連する企業でICT利活用検討部会に御参画いただいているところが、地方版IoT推進ラボを形作っており、ICT利活用検討部会でIoT推進ラボの企画や方針を策定

し、具体的な取組は、(仮称)しがIoT推進ネットワークという有志の企業が集まり、新しいコンテンツを産み出そうとするものである。そうした取組に、本県その他部局からも補助金を出すという仕組みを用意している。

今回御願っているのは、ICT利活用検討部会で企画を御議論いただくことになってはいるが、構成員も増えているため、IoT推進ラボの企画を行うワーキンググループを置きたいというものである。

○運営委員

実質的には、(仮称)しがIoT推進ネットワークとICT利活用検討部会のワーキンググループのメンバーはかなり重なっているということか。

○運営委員長

そのとおりである。企画を行うワーキンググループはICT利活用検討部会のメンバーであるが、実際に活動を行う(仮称)しがIoT推進ネットワークのメンバーは部会のメンバーであってもなくても良い。

○運営委員

大学も参加できるのか。

○運営委員長

もちろん参加できる。よろしく願いたい。

○運営委員

推進会議の会議体で議論された内容で確実なアウトプットを産み出すことは難しいとは思いますが、議論の内容等を知事に報告するということはあるか。

○運営委員長

知事がおいている組織ではないので、知事には報告するということはない。

○運営委員

非常に良い議論がされているが、表に出ていないのが惜しい。情報交換が目的であろうが、こういう議論がされた、という報告を、例えば、ウェブサイトに公開するなどをすれば、推進会議のプレゼンスも上がっていくのではないか。是非御検討いただきたい。

今年度は特に良い議論がされていると感じている。

○運営委員長

確かに、西川座長の下で、良い議論がされた。

○運営委員

情報開示により、地域情報化の牽引になると考える。

○運営委員長

もしよろしければ、本運営委員会において、公開に支障がある情報以外は公開するという方向で、御了解がいただければその方向で是非進めたいがどうか。

企業様からの情報提供の場合は、企業として一般に開示できない情報もあろうかと思うが、そのような情報は、伏せるという形でどうか。

○運営委員

ICT利活用検討部会を担当し、今年度は回数を重ねてきたところ。今年度は国の施策として、データ活用を都道府県、市町にも広めていこうとしている背景があった。また、最近はIoTの推進というようなこともますます加速している。

県もその手を挙げて加わろうとしている。良いコンテンツが生まれることが目標であるが、ICT利活用検討部会では、情報提供による気づきはあったとしても、その後の展開はこれからといったところ。

公開については、単なる議事録をアップロードすれば良いのか、といった問題があるし、御提供いただいた資料をそのまま公開できるのかといったところに不明な部分もある。

議事録とはいかずとも、大きなタイトルや、テーマは公開するなどの方法もある。一回の部会開催で結論を求めているわけでもないことから、まとめ方は難しいと思う。

テーマ、題材、資料の一部の開示は意味があると考えます。推進会議のメンバーからさらに広がった活動が目標であると考えるので、御理解が得られるのであれば、事務局も難しいと思うが、タイトル出しだけでも意味があるのではないかと。

○運営委員長

概ね、御了解いただいているとは受け止めているが、具体的にどのように開示していくのか、イメージしづらいと考える。

ただちに御賛同を求める訳にもいかないので、開示の手続等の要領を取りまとめて、次回、年度当初の運営委員会にお諮りし、総会でもお諮りして参りたい。

それでよろしいか。

○各運営委員

〈了承〉

○運営委員

滋賀県立大学では、県予算もいただいて、地域と情報というコンセプトで、工学部には「地域ひと、モノ、未来情報研究センター」を設置することとなった。

滋賀大学が本推進会議に入会いただくということは、データサイエンス学部との設置と関連があると思うが、本学でも情報の関連でプレゼンスをということで2か年ほど、議論を重ね、4月1日に発足することとなっている。

地域と情報という切り口は、本推進会議と重なっており、本学とのコラボレーションができるのではないかと考えており、よろしく願いたい。

○運営委員長

ICT利活用検討部会では、滋賀県立大学の酒井教授に御指導いただいているところである。

今回御提案したICT利活用検討部会のワーキンググループは、(仮称)IoT創出の方が滋賀県立大学、(仮称)データ利活用の方が滋賀大学に、御協力をお願いする場面が多くなるのではと考えているところである。

○運営委員

観光、農業、看護、といった分野での「IoT」というのがメインの研究対象となってくる。

○運営委員長

是非、よろしく願いたい。

○運営委員長

来年度、ワーキンググループで専門的に御議論いただくのももちろんであるが、本県の方としても、ICTの利活用を進めていく上での戦略を来年度策定し、幅広い御議論をいただきたいと考えているが、これについて、本推進会議が報告を受けるなり、意見を述べるということも、本推進会議の主要な役割になってくるのではないかと考えている。

また、御意見をいただきたい。

○運営委員

戦略とはどれくらい先のことを議論するのか。

○運営委員長

平成30年度から平成34年度までの5か年と考えている。

○運営委員

5年間で何かを生み出していくのか。

○運営委員長

方向性・ビジョンを示した上で、たとえば、県として、IoTを使ってこういった事業をしていくとか、こういった事業にICTを利活用していくとか、テレワークを進めていくとか、そういった事業を県のICT施策をオープンデータ化するなどして、御協力いただけるものには御願ひする、あるいは、連携を御願ひする等して参りたい。どこまで新しいものが生み出せるかは分からないが。

○運営委員

そうした戦略が、県内ITへの支援につながるということまでお考えなのか、あるいは、力を合わせてやりましょう、ということなのか。どのようにお考えか。

○運営委員長

県内産業の育成、という観点も入っており、ICT企業もちろんである。産業振興という点でも一定の方向性は示したい。どこまで支援ということが書けるかイメージは持てていないが、ICT産業の育成も戦略の射程には入ると考えている。

○運営委員長

ワーキンググループの設置については、御了承いただいたと考えて良いか。具体的な進め方は、運営委員会の皆様に御相談しながら、ICT利活用検討部会の方で、決定させていただくことでよろしいか。

○各運営委員

〈了承〉

○運営委員長

それでは、ICT利活用検討部会設置要領の改正案については、提案のとおり御了承を得たと取り扱う。

この際、他に御意見・御質問はあるか。

○各運営委員

〈意見・質問等なし〉

○運営委員長

また、御意見等があれば事務局にお申し付けいただきたい。本日の御議論に感謝申し上げます。  
それでは、運営委員会を終了する

以上

# 滋賀県地域情報化推進会議 平成28年度第3回 運営委員会 出席者名簿

日時 平成29年3月23日(木) 13:00～14:00

場所 滋賀県庁新館7階システム設計室(Ⅰ)A

団体名称	所属・職名等	出席者	備考
キステム株式会社	常務取締役	井門 英也	
公益財団法人滋賀県産業支援プラザ	総務企画部情報企画課	瀬村 祐二	
西日本電信電話株式会社滋賀支店	ビジネス営業部SE部門	塩見 なぎさ	
日本ソフト開発株式会社	顧問	西川 嘉一	
公立大学法人滋賀県立大学	工学部電子システム工学科教授	いぬい 乾 よしたか 義尚	
学校法人立命館立命館大学	研究部BKC リサーチオフィス課長	栗山 俊之	
学校法人龍谷大学	龍谷エクステンションセンター課長	松山 幸司	
近江八幡市（市長会会長）	システム管理課長	だいとう 大東 勝	
豊郷町（町村会会長）	企画振興課長	山口 昌和	
滋賀県	情報政策課長	渡邊 康之	（運営委員長）
事務局		浪江 尚史	

敬称略

## 滋賀県地域情報化推進会議 平成28年度 事業報告（3/22現在）

## 【会員数】

推 移	合計	企業	団体	行政	N P O	特別
H28.3.31現在	6 7	3 0	1 2	2 0	0	5
H29.2.27現在	6 9	3 1	1 2	2 0	0	6
増 減	2	1	－	－	－	1

## (1) 企画調整事業

## ア 総会

第30回総会を次のとおり開催し、事業計画、収支予算等を審議、決定した。

日 時	平成28年6月27日(月) 14:00～15:00
場 所	ホテルボストンプラザ草津 リンカーンボールルーム
議 事	(1) 第1号議案 滋賀県地域情報化推進会議規約の一部改正(案)について (2) 第2号議案 平成27年度事業報告および収支決算報告について (3) 第3号議案 平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)について
活動報告 等	「滋賀Web大賞2016」 表彰式（各部門 最優秀賞、優秀賞、審査員特別受賞者）

## イ 運営委員会

## 【第1回】

運営委員会を次のとおり開催し、総会に付議すべき事項等を審議した。また、各事業に会員のニーズや地域の課題を的確に反映させるよう検討等を行った。

日 時	平成28年5月25日(水) 10:00～11:30
場 所	滋賀県庁新館7階システム設計室(Ⅰ)A
議 事	(1) 滋賀県地域情報化推進会議規約の一部改正(案)について (2) 平成27年度事業報告および収支決算報告について (3) 平成28年度事業計画(案)および収支予算(案)について (4) ICT利活用検討部会設置要領の一部改正について (5) 「滋賀Web大賞2016」の審査結果について
報告事項	滋賀県地域情報化推進会議総会後の講演会について

## 【第2回】

運営委員会を次のとおり書面により開催し、滋賀Web大賞を拡充し、滋賀ICT大賞を創設することを決定した。

日 時	平成29年2月7日(火)
議 事	滋賀ICT大賞実施要綱の制定と滋賀ICT大賞2017の実施について

【第3回】

運営委員会を次のとおり開催し、今年度の事業実施報告を行い、ICT利活用検討部会の設置要領の一部改正について、審議を行う予定である。

日 時	平成29年3月23日(木) 13:00～14:00
場 所	滋賀県庁新館7階システム設計室( I )A
議 事	( 1 ) 平成28年度事業実施報告について ( 2 ) ICT利活用検討部会設置要領の一部改正について

( 2 ) 調査研究事業

ア ICT利活用検討部会の実施

【第1回】

日 時	平成28年4月25日(水) 14:00～16:00
場 所	滋賀県庁新館7階システム設計室( I )
内 容	1 ICT利活用検討部会設置要領の改正について 2 ICT利活用検討部会の進め方について
参加者	計16名

【第2回】

日 時	平成28年5月23日(月) 13:30～15:00
場 所	滋賀県立県民交流センター 301会議室
内 容	○「ICT×地方創生」の実現に向けて 西日本電信電話株式会社滋賀支店 ビジネス営業部長 永井裕樹 氏
参加者	計17名

【第3回】

日 時	平成28年8月1日(月) 9:00～10:30
場 所	滋賀県大津合同庁舎7A会議室
内 容	○オープンデータ(ビッグデータ)の活用方策 近江ディアイ株式会社 代表取締役 藤澤栄一 氏
参加者	計18名

【第4回】

日 時	平成28年9月12日(月) 13:00～15:00
場 所	滋賀県農業教育情報センター 生活企画相談室
内 容	○「ICT×地方創生」の実現に向けて 西日本電信電話株式会社滋賀支店 ビジネス営業部長 永井裕樹 氏
参加者	計23名

【第5回】

日 時	平成28年11月4日(金) 15:00～17:00
場 所	滋賀県庁北新館5階 5-B会議室
内 容	○ICTリテラシー教育について キシステム株式会社 システム技術本部 取締役 統括本部長 小澤文浩 氏 阪南大学経営情報学部 非常勤講師 木山恒彦 氏 ○滋賀地域共創データコンソーシアム構想について 株式会社滋賀銀行 システム部システム企画グループ 調査役 吉田浩平 氏
参加者	計25名

【第6回】

日 時	平成29年1月26日(木) 14:00～16:00
場 所	滋賀県農業教育情報センター 第4研修室
内 容	○オブテックスのIoTの取組 オブテックス株式会社 事業戦略本部 開発センター長 中村明彦 氏 ○滋賀IoT推進ラボについて 滋賀県商工観光労働部モノづくり振興課 小川栄司
参加者	計26名

【第7回】

日 時	平成29年3月1日(水) 15:00～17:00
場 所	滋賀県農業教育情報センター 生活企画相談室
内 容	○滋賀地域共創データコンソーシアム構想について 株式会社滋賀銀行 システム部システム企画グループ 調査役 吉田浩平 氏
参加者	計27名

【第8回】

日 時	平成29年3月23日(木) 14:30～16:30に開催予定
場 所	滋賀県農業教育情報センター 第3研修室
内 容	○今後のICT施策について 滋賀県県民生活部情報政策課課長 渡邊康之
参加者	計39(見込み)名（各市町情報管理主管課長会と合同開催）

## イ ICT利活用プレゼンテーション会の実施

日 時	平成28年7月19日(金) 9:00～11:55
場 所	滋賀県庁新館7階システム設計室(Ⅰ)
内 容	<p>○オープンデータ施策と課題 大津市 CIO補佐官 木下克己 氏</p> <p>○顔認証システムのご紹介 日本電気株式会社 関西支社 事業推進部 シニアマネージャー 工藤裕史 氏</p> <p>○ビーコンを活用した観光促進アプリケーション 株式会社ナユタ 北居洋平 氏</p> <p>○相互理解のための地域ポータルサイトの活用 株式会社日本ビーコム 代表取締役 戸所新太郎 氏</p> <p>○住民の暮らしを支える新たなライフアシストサービスの取組みについて 富士通株式会社 西日本営業本部 関西ビジネスイノベーションセンター シニアマネージャー 新庄利栄 氏</p> <p>○「SOFIT Super REALISM」による超高速データ処理 日本ソフト開発株式会社 BIG DATA R&amp;D本部 副本部長 岸本行正 氏</p> <p>○教育×ICTの取組について 西日本電信電話株式会社 滋賀支店 ビジネス営業部 ビジネス営業部長 永井裕樹 氏</p>
参加者	計66名

## (3) 普及啓発事業

### ア 地域情報化講演会

会員、一般参加者を対象に地域情報化講演会を開催し、情報化意識の普及啓発を図った。

#### 【情報通信月間参加行事】

日 時	平成28年6月27日(月) 15:15～16:15
場 所	ホテルボストンプラザ草津 リンカーンボールルーム
テーマ 講師等	<p>講演 人々の暮らしが豊かになる社会を目指して ～IoTのいまと社会情報基盤実現への取組～</p> <p>講師 西日本電信電話株式会社 研究開発センタ 部長 笹田国博 氏</p> <p>協賛 情報通信月間推進協議会</p>
参加者	計53名

## イ 滋賀Web大賞および滋賀ICT大賞

滋賀Web大賞を開催した。これを元に滋賀ICT大賞を企画し、実施に向けた事業に着手した。

### ◎ 滋賀Web大賞2016の表彰

滋賀県内の企業、各種団体、公共団体、学校、個人等が運営しているウェブサイトのうち優れた地域情報を発信し、豊かな地域社会を築くことに貢献するウェブサイトを表彰し、紹介することにより、ウェブコンテンツの充実、ICTの利活用の促進および滋賀の魅力ある情報発信の強化を図ることを目的として、「滋賀Web大賞2016」を開催した。

#### ○ 応募部門

##### A 企業部門【企業】

##### B 地域活動団体部門【商店街、各種団体、グループ、NPOなど】

##### C 公共団体・公共的団体・教育団体部門【行政、公社、学校など】

#### ○ 応募数

A 企業部門【企業】 ..... 15

B 地域活動団体部門【商店街、団体、グループ、NPO等】 ..... 14

C 公共団体・公共的団体・教育団体部門【行政、教育機関等】 ..... 14

#### ○ 受賞作品

##### A 企業部門【企業】

...最優秀賞 1、優秀賞 2

##### B 地域活動団体部門【商店街、各種団体、グループ、NPOなど】

...最優秀賞 1、優秀賞 2

##### C 公共団体・公共的団体・教育団体部門【行政、教育機関等】

...最優秀賞 1、優秀賞 2

##### 審査員特別賞

... 3

### ◎ 滋賀ICT大賞にかかる企画

地域情報発信のためのICT活用方法が多様化していることから、滋賀Web大賞に、新たに、アプリ・オープンデータ・ビッグデータの部とアイデアの部を新しく応募対象に追加し、名称を「滋賀ICT大賞」とあらためて実施することとした。

### ◎ 滋賀ICT大賞2017の募集

募集期間 平成29年2月15日(水)～平成29年4月15日(土) (予定)

#### ○ 応募カテゴリー

##### ◆ウェブサイトの部

##### A 企業部門【企業】

##### B 地域活動団体部門【商店街、各種団体、グループ、NPOなど】

##### C 公共団体・公共的団体・教育団体部門【行政、公社、学校など】

##### ◆アプリ・オープンデータ・ビッグデータの部

##### ◆アイデアの部

○ 応募数 (3月17日現在中間集計)

◆ウェブサイトの部

A 企業部門【企業】 ..... 6

B 地域活動団体部門【商店街、団体、グループ、NPO等】 ..... 3

C 公共団体・公共的団体・教育団体部門【行政、教育機関等】 ..... 4

◆アプリ・オープンデータ・ビッグデータの部 ..... 3

◆アイデアの部 ..... 0

○ 表彰区分

◆ウェブサイトの部

各部門とも最優秀賞1作品、優秀賞2作品の範囲で決定する。

◆アプリ・オープンデータ・ビッグデータの部

最優秀賞1作品、優秀賞2～3作品の範囲で決定する。

◆アイデアの部

優秀賞を決定する。受賞作品数は審査委員会が決定する。

ウ 滋賀県地域情報化推進会議ウェブサイトの運営

推進会議の趣旨や活動内容を広く知ってもらうために、ホームページのデータを随時更新し、講演会、ICT利活用プレゼンテーション会、滋賀ICT大賞、研修会等の情報を掲出・公開した。

(4) 交流事業

ア 会員相互の交流

調査研究事業のメンバー拡大と開催回数の大幅な増加により、会議開催前後の時間を活用した会員間の交流を図った。

イ 共催・後援事業

○「セキュリティミニキャンプin 近畿 2017(京都)」後援

日時 平成29年2月25日(土) 13:00～

主催者 セキュリティミニキャンプ in 近畿 2017(京都)事務局

(立命館大学情報理工学部システム学科 サイバーセキュリティ研究室(上原研究室)内)

(5) 研修事業

ア「地域IoT実装推進ロードマップ」説明会の実施

日 時	平成29年2月7日(火) 10:00～11:45
場 所	農業教育情報センター 第3研修室
テーマ	演題 地域IoT実装推進ロードマップ
講師等	講師 総務省情報流通行政局地域通信振興課長 加藤主税 氏
参加者	計70名

イ 「地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクト」説明会の実施

日 時	平成29年2月7日(火) 13:00～15:00
場 所	農業教育情報センター 第3研修室
テーマ	演題 地域経済応援ポイント導入による好循環拡大プロジェクト
講師等	講師 総務省大臣官房審議官（地域情報化担当） 猿渡知之 氏
参加者	計72名

ウ 研修会の実施

日 時	平成29年3月21日(月) 13:30～17:00
場 所	大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール
内容	<p>地域IoT実装・ICT利活用に関する事例発表会 ～地方公共団体や民間企業等の導入事例～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滋賀県からの発表者 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本ソフト開発株式会社 光山和弘 氏 <ul style="list-style-type: none"> <li>「水処理施設等におけるM2Mクラウド型遠隔監視サービスの提供」</li> <li>「滋賀県守山市『みんなで健康100日チャレンジ!』事業」</li> </ul> </li> <li>大津市 木下克己 氏 <ul style="list-style-type: none"> <li>「無料公衆無線LAN設備（Wi-Fiスポットの設置）」</li> <li>「アーバンデータチャレンジ 2015 in Otsu ～大津祭を楽しむ～の開催」</li> <li>「オープンデータポータルサイト（専用カタログサイト）の開設」</li> <li>「市民通報システム」</li> <li>「アーバンデータチャレンジ2016『お祭りHackin 大津』の開催」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>主催 近畿総合通信局、近畿情報通信協議会、滋賀県地域情報化推進会議、ICTコンソーシアム京都、一般財団法人関西情報センター、兵庫ニューメディア推進協議会、地域ICT推進協議会、和歌山県情報化推進協議会</p>
参加者	約70名

エ 地域情報化セミナーの実施

日 時	平成29年3月27日(月) 14:00～15:30 <u>(予定)</u>
場 所	農業教育情報センター 第3研修室
テーマ	○演題 ICTと現代社会
講師等	<p>講師 立命館大学情報理工学部 学部長 仲谷善雄 氏</p> <p>○演題 今後のICT関連施策について</p> <p>講師 滋賀県県民生活部情報政策課課長 渡邊康之</p>
参加者	計 <u>  </u> 名

## ICT利活用検討部会設置要領 改正案

## (目的)

第1条 滋賀県地域情報化推進会議規約第14条の規定に基づきICT利活用検討部会（以下「部会」という。）を設置することとし、その運営については滋賀県地域情報化推進会議部会運営規程（以下「運営規程」という）によるもののほか、次に定めるとおりとする。

## (研究テーマ)

第2条 運営規程第2条第2項に基づく部会の研究テーマは「ICTの利活用」に関することとする。

## (設置期間)

第3条 設置期間は平成29年度までとし、必要に応じて延長することがある。

## (組織)

第4条 運営規程第3条第1項および第2項の規定に基づく部会の構成員は別表1のとおりとする。ただし、運営委員会の承認があれば、部会構成員の追加、変更を行うことができるものとする。

2 座長は構成員の互選により選出する。

3 座長は、部会の議を経て、第2条の研究テーマのうち特定の事項について研究するワーキンググループを設置することができる。

4 前項のワーキンググループには、主査を置き、主査はワーキンググループを総括するものとする。

5 前項の主査は、座長が指名する。

6 ワーキンググループの構成員は、部会員をもって充てることとし、部会員の希望を聴取した上で座長が決定する。

(ワーキンググループの招集)

第5条 ワーキンググループは、主査の要請により座長が招集する。

2 主査は、必要があるときは、ワーキンググループの構成員以外の者を出席させることができる。

(ワーキンググループの活動報告)

第6条 主査は、ワーキンググループにおける研究の経過と結果を整理し、部会において座長に報告するものとする。

(経費)

第7条 運営規程第6条に基づく部会の運営に必要な基本的な経費については次のとおりとする。

- ① 会議室の借り上げ費
- ② 講師への謝礼、交通費等
- ③ その他運営委員会が必要と認めた経費

2 前項のほか、必要と認められる経費の取扱いについては、参加者による負担等、部会において定める。

(事務局)

第8条 事務局は滋賀県県民生活部情報政策課に置く。

付 則

この要領は、平成26年9月16日から施行する。

付 則

この要領は、平成26年11月28日から施行する。

付 則

この要領は、平成27年9月10日から施行する。

付 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。

付 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

別表 1 ICT利活用検討部会構成員

<u>1</u>	アインズ株式会社
<u>2</u>	近江ディアイ株式会社
<u>3</u>	<u>オブテックス株式会社</u>
<u>4</u>	キステム株式会社
<u>5</u>	株式会社滋賀銀行
<u>6</u>	NTT西日本滋賀支店
<u>7</u>	日本ソフト開発株式会社
<u>8</u>	株式会社 日本ビーコム
<u>9</u>	東近江ケーブルネットワーク株式会社
<u>10</u>	株式会社 ミズホネット
<u>11</u>	大津市
<u>12</u>	長浜市
<u>13</u>	草津市
<u>14</u>	守山市
<u>15</u>	甲賀市
<u>16</u>	米原市
<u>17</u>	多賀町
<u>18</u>	滋賀県立大学
<u>19</u>	滋賀県

ICT利活用検討部会設置要領新旧対照表

旧	新
<p>(目的)</p> <p>第1条 (略)</p> <p>(研究テーマ)</p> <p>第2条 (略)</p> <p><u>2 前項の研究テーマには、複数のサブテーマを設けることができるものとする。</u></p> <p><u>3 前項のサブテーマは、部会で協議の上、決定するものとする。</u></p> <p>(設置期間)</p> <p>第3条 設置期間は平成<u>28</u>年度までとし、必要に応じて延長することがある。</p> <p>(組織)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p><u>3 第2条第2項のサブテーマ毎に、サブテーマ担当を設けることができるものとする。</u></p> <p><u>4 前項のサブテーマ担当は構成員の互選により選出する。</u></p> <p><u>5 前2項のサブテーマ担当はサブテーマ毎の検討について、部会への提案、報告等を行うことにより、当該サブテーマにかかる部会の検討取りまとめ等を担当するものとする。</u></p>	<p>(目的)</p> <p>第1条 (略)</p> <p>(研究テーマ)</p> <p>第2条 (略)</p> <p>(設置期間)</p> <p>第3条 設置期間は平成<u>29</u>年度までとし、必要に応じて延長することがある。</p> <p>(組織)</p> <p>第4条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p><u>3 座長は、部会の議を経て、第2条の研究テーマのうち特定の事項について研究するワーキンググループを設置することができる。</u></p> <p><u>4 前項のワーキンググループには、主査を置き、主査はワーキンググループを総括するものとする。</u></p> <p><u>5 前項の主査は、座長が指名する。</u></p> <p><u>6 ワーキンググループの構成員は、部会員をもって充てることとし、部会員の希望を聴取した上で座長が決定する。</u></p>

旧	新
<p></p> <p>(経費)</p> <p><u>第5条</u> (略)</p> <p>(事務局)</p> <p><u>第6条</u> (略)</p>	<p><u>(ワーキンググループの招集)</u></p> <p><u>第5条</u> ワーキンググループは、主査の要請により座長が招集する。</p> <p><u>2 主査は、必要があるときは、ワーキンググループの構成員以外の者を出席させることができる。</u></p> <p><u>(ワーキンググループの活動報告)</u></p> <p><u>第6条</u> 主査は、ワーキンググループにおける研究の経過と結果を整理し、部会において座長に報告するものとする。</p> <p>(経費)</p> <p><u>第7条</u> (略)</p> <p>(事務局)</p> <p><u>第8条</u> (略)</p>

## 旧

別表 1 ICT利活用検討部会構成員

<u>1</u>	アインズ株式会社
<u>2</u>	近江ディアイ株式会社
<u>3</u>	キステム株式会社
<u>4</u>	株式会社滋賀銀行
<u>5</u>	NTT西日本滋賀支店
<u>6</u>	日本ソフト開発株式会社
<u>7</u>	株式会社 日本ビーコム
<u>8</u>	東近江ケーブルネットワーク株式会社
<u>9</u>	株式会社 ミズホネット
<u>10</u>	大津市
<u>11</u>	長浜市
<u>12</u>	草津市
<u>13</u>	守山市
<u>14</u>	甲賀市
<u>15</u>	米原市
<u>16</u>	多賀町
<u>17</u>	滋賀県立大学
<u>18</u>	滋賀県

## 新

別表 1 ICT利活用検討部会構成員

<u>1</u>	アインズ株式会社
<u>2</u>	近江ディアイ株式会社
<u>3</u>	<u>オプテックス株式会社</u>
<u>4</u>	キステム株式会社
<u>5</u>	株式会社滋賀銀行
<u>6</u>	NTT西日本滋賀支店
<u>7</u>	日本ソフト開発株式会社
<u>8</u>	株式会社 日本ビーコム
<u>9</u>	東近江ケーブルネットワーク株式会社
<u>10</u>	株式会社 ミズホネット
<u>11</u>	大津市
<u>12</u>	長浜市
<u>13</u>	草津市
<u>14</u>	守山市
<u>15</u>	甲賀市
<u>16</u>	米原市
<u>17</u>	多賀町
<u>18</u>	滋賀県立大学
<u>19</u>	滋賀県

## 滋賀県地域情報化推進会議の当面の運営方針

### 【平成29年度】

「滋賀IoT推進ラボ」等、滋賀県地域情報化推進会議が担うべき役割の増加に伴い、ICT利活用検討部会に2つのWGを置く。

#### ICT利活用検討部会

##### 【主な機能】

- ・「（仮称）滋賀県ICT推進戦略」への意見

#### IoT創出WG（仮称）

##### 【主な機能】

- ・「しがIoT推進ネットワーク（仮称）」の運営方針の決定

#### データ利活用WG（仮称）

##### 【主な機能】

- ・オープンデータ／ビッグデータの利活用